

第5回「(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」策定懇談会 議事録

1 日時 令和7年5月29日(木) 15:00～16:00

2 場所 ライトキューブ宇都宮 2階 大会議室202

3 出席委員

学識経験者

森本 章倫 会長 長田 哲平 副会長 中井 祐 委員

関係団体

市村 耕三 委員 坂本 守弥 委員 近野 泰 委員 村上 龍也 委員
栗原 伸一 委員 増田 良二 委員 梓澤 昌徳 委員 小関 裕之 委員
鈴木 孝弘 委員

交通事業者

神保 成究 委員 石原 玲一 氏(吉田 元 委員代理) 荒井 勝 委員
中尾 正俊 委員

行政機関

橋本 達雄 委員 本間 毅 委員 村上 晃規 氏(高村 由総 委員代理)

事務局

都市整備部 野澤次長

都市整備部 市街地整備課 上田課長 相澤課長補佐 佐藤係長 平野総括
高谷主任 嶋村主任技師 鈴木主事 寺岡主事

4 会議経過

(1) 開会

(2) あいさつ

森本会長

前回2月に皆さんと議論してからしばらく時間が経っておりますが、その間にLRTの西側延伸に関する具体的な内容についても少しずつ固まってきておりまして、西側の周辺地区の土地利用方針を早急に固める必然性が出てきております。

そうした中で、各エリアの土地利用方針をどうするのかということと併せまして、実現に向け今後どのようなスケジュール感で我々の理想像をまとめていくのかということも、委員の皆さまと一緒に検討していきたいと思っております。

限られた時間ですが本日もどうぞよろしくお願いいたします。

(3) 会議の公開について

本会議は公開として決定

(4) (仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

- ・ 事務局から資料1に基づき説明

森本会長	それでは、皆様よりご質問やご意見を伺いたいと思います。
中尾委員	資料9 ページに記載のある「アンブレラフリーの動線」について、「濡れない」ということは、交通結節点における3つの要素「歩かせない」「濡らさない」「待たせない」の2つ目に大切なところで、観光客や駅利用者は助かります。その上で、「どのような形状なのか」「どのようにすれば濡れないのか」などをもう少し具体的に示してほしいと思います。
事務局	公共交通を利用する方が、雨に濡れないということは大変重要だと考えています。イメージ図は人の動きをよく見せるためにあえて傘となる屋根の部分を記載しておりませんが、形状については今後基本設計を進めていく中で具体化していく考えです。基本的な考え方として様々な交通モードが結節する場所であるため、利用者が雨に濡れず快適に移動できる空間を形成していきたいと考えています。
中尾委員	他市の駅で通路の片側だけに屋根を設置している事例があつたりするが、通路全面に屋根を設置したほうが、雨の日も快適に安心して利用できるので、配慮していただきたいと思います。
森本会長	駅前の通路は街の顔となる部分です。ぜひデザイン性を十分に考慮し、誇らしい空間、濡れない空間を作る工夫をしていただきたいと思います。
小関委員	今回の資料で概ね満足できる形になっていると思います。会議に先立ち、平成25年の基本構想を改めて読んだところ、そこでは災害への対応に触れていましたが、今回の資料では防災や災害について言葉が見当たらないように思います。駅西口は避難拠点にはならないと思いますが、避難を誘導するための機能は必要だと思います。関係部局と危機管理的な防災の観点で協議をし、避難誘導について検討してほしいと思います。
事務局	防災については、第4回懇談会の振り返りになりますが、駅西口整備方針のとおり、自然環境に強くしなやかな環境形成、気候変動への対応ということで、自然災害に備えた施設として、帰宅困難者の受け入れや備蓄倉庫などの施設は駅周辺には必要であると捉えていますので、関係部局と

	調整を進めながら、具体化に取り組んで参ります。今回の資料については、周辺の土地利用という内容で整理しているところではありますが、広場空間についても触れていますので、防災の視点で再度掲載いたします。
栗原委員	資料10ページにあります駅南地区の停車スペースについて、現状、決められた場所での荷捌きに加え、朝夕様々な場所で車からの乗降が見られる。こうした需要は南から駅を利用する人には一定必要なものと考えます。しかし、長時間の停車や好き勝手な場所での停車をすることがないよう、民間街区や道路空間を活用して停車スペースを整備してほしいと思います。駅前広場に限らず、交通の利便性の向上、円滑化に取り組んでいただきたいと思います。 また、駅前に位置する田川は貴重な景観でありますので、宮っこの情緒を残したまちづくりイベントをこれからも続けていけるよう進めてほしいと思います。
事務局	駅前広場には交流空間を設ける予定となっておりますので、今後も賑わいにつながるようなイベントも行っていきたいと思います。 ご意見を頂いた資料14ページにあります南地区の停車スペースについては、降車の利用が駅南側にもあると認識しています。バスやタクシーなどの交通空間の再配置による交通の円滑化に取り組むとともに、広場周辺の道路空間を活用し、停車スペースの整備、またそのルール化について、社会実験を行いながら前向きに検討してまいります。
村上委員	資料について、民間街区について盛り込まれ、とてもわかりやすくなっていると思います。 これまで議論されてきた駅前広場に加え、民間街区の土地活用の検討が一緒に進められるとよいと思います。特に北地区も一緒に進められると理想的です。トナリエ・A街区では意見交換が始まりましたが、ぜひ北地区も含め、広いエリアで情報交換し、検討が進められると良いと思います。 また、田川沿い民間街区についても検討の可能性があるとするれば、おもしろいと思います。宮の橋でイベントを年2、3回行っていますが、宮の橋も田川の河川敷も、人が集まるスペース、また、イベントを行うスペースとしては中途半端な空間だと感じていますので、もう少し使いやすく、また、人が集まれる工夫された空間にできると活用しやすいと考えています。そういったことも含め検討していただきたいと思います。
事務局	駅前広場周辺の土地利用について、今回具体化したところであり、こうした方針を共有しながら、官民で一層連携を強め、民間街区の再編に努めていきたいと考えています。北地区、田川沿いについても、人が集

	い、楽しく歩けるような空間の再編につながるよう、権利者の意向確認や意見交換を行ないながら取り組んで参ります。
森本会長	資料４ページ、田川周辺の空間形成については、水辺空間と一体性を強く意識をしていく場所で、きわめて資源性の高いエリアとなっているので、活用していただくよう私からもお願いしたいと思います。
近野委員	集約駐車場について、北地区だけで議論するのではなく、エリア全体で交通の円滑化に繋がるよう考える必要があると思います。 我々は北地区に土地をもっていますが、まちなか全体が活性化する誘導機能と都市機能について考え、西口を盛り上げる対話をしていきたいと思います。 別件になりますが、LRTが導入されたことで、宇都宮駅東口において、車の駅周辺における車の流入や、人の動きなど期待された変化はみられているのでしょうか。
事務局	東口においてはLRT沿線の人口増加や地価の上昇、また、清原工業団地、芳賀工業団地への民間投資などの効果が見られています。また、東口の大通りへの自動車の流入量については減少してきていることが確認されております。
長田副会長	駅東側にトランジットセンターとして駐車場を整備しております。そこに車を停めるパークアンドライドでの利用が多いというデータが出てきており、東口における車の流れは大きく変化しています。 また、事務局から説明のあった通り、周辺人口も増え、民間の投資も始まっているなど、状況は大きく変わってきているところです。
鈴木委員	田川周辺をどう見ていくかという話について、駅前広場のところで「まちの顔」というワードがありましたが、駅を出たところからのまちの見え方についても広場空間と整合をとって、重視していくところであると思います。これまで１階レベルの広場の議論はしてきましたが、駅を降りた人はまず改札のある２階に来ますので、２階レベルにおける広場など、駅前の見え方などについてもデザインの工夫をした方がいいと思います。 また、資料１７ページの取り組みイメージについて、周辺街区の再編には各権利者の意向がありますので、公共空間から先に整備がされていくと思います。柔軟性、可変性という意味で、周辺街区側の再編がどのように進んでいくかを見極めながら、段階的な整備に取り組むためのプログラムの検討が必要になってくると思います。計画を作って終わりにするのではなく、実施レベルになっても、きちんと対話する場面を設けておくのが大切であると思います。

事務局	周辺街区の再編にあたっては十分に調整を図りながら進めてまいります。特に北地区は広大なエリアとなっており、建物再編だけではなく、面的な基盤整備や周辺道路に配慮したアクセス道路の整備なども考えながら再編に取り組むことが重要と考えています。 また、ご意見いただいた駅前の広場空間につきまして、これまで1階レベルを中心にウォークアブルな空間を作っていくというところで議論してきましたが、2階部分も上手く使い滞留できる空間を整備することで階層性のある立体的な空間となり、駅前の「顔作り」としての広がりも考えられることから、1階と一体となった2階レベルの使い方についても検討していきたいと思います。
中井委員	資料9ページのイメージ図について、駅周辺と田川を含む回遊空間ができ、東武宇都宮駅までの約1.5kmの距離がLRTで繋がって、宇都宮の歴史を感じられるような、そうした「まち」は国内でも珍しいので、夢があります。こういったイメージが関係者の間で共有できつつあるのはこの会議の大きな成果であると感じています。 意見としましては、各街区にどういう機能をいれるかということは大事なことではありますが、まちの魅力というものは各街区の機能と機能の隙間に魅力が滲みだす、混ざり合うところにあると思っています。 最後の取り組みのページについて、パブリックな空間が駅前広場しかないというのは残念でありますので、計画を策定していくうえで、具体的には駅前の大通りを街路としてどのように整備していくのか、各街区の隙間をどうするのか、田川周辺地区の再編を考える際に田川自体をもっと魅力的にしていくアイデアなど、駅前広場以外にもリストアップすべき点があると感じていますので、引き続き議論をすることで、ますます良い全体計画になっていくのではないかと思います。
事務局	公共空間も含めて一体感の醸成というものは非常に重要なものと考えております。駅前広場や広場につながるアクセス道路についても、周辺街区との一体感の醸成に向けた配慮や工夫など、引き続き検討してまいります。
神保委員	各街区をよりウォークアブルにシームレスにつなぐのが大事であると思っています。導入機能の観点から、駅やLRTの停留場が各街区にどう繋がって、上下左右どのように行けるのかという繋ぎ方の着地点を考えていったほうが良いと考えます。現状のデッキの繋ぎの悪さについて、今後当社でも協議し、協力していきたい考えです。 2点目としまして、BCP（事業継続計画）機能について、駅だけでは限りがあることから、駅前広場の機能として大いに期待を寄せていますので、有事の際における一時的な滞在機能の確保に取り組んでほしいと

	思います。
事務局	2階歩行者デッキについては、街区の再編と併せて、民間街区と連携し、柔軟に対応できればと思います。 また、今回新たに駅前に交流広場を設ける考えでありますので、広場の使い方についても検討してまいります。
石原委員	バス空間に関して、現在のバスターミナルは安全性に課題があるため、安全を第一に考慮したものを、今後協議しながら作っていきたいと考えています。
荒井委員	タクシープールは高齢者や体の不自由が利用する機会も多いので、どこの駅においても駅の正面に位置しているのが理想です。宇都宮駅西口でもそのように取り組んでいただきたいと思います。
森本会長	公共交通としての利便性を担保するということですので、引き続き工夫をしながら取り組んでほしいと思います。
増田委員	北地区については大部分がゼビオホールディングス株式会社さんの土地であります。住民は土地の活用について高い関心を寄せています。 そのため駐車場だけでなく、賑わいを創出する商業施設等もほしいと思っています。 錦地区について、過去の大雨の際、230世帯は床上浸水、車は廃車にもなりました。トナリエの立体駐車場へ避難した方は助かったことから、立体駐車場が安全で望ましいと考えます。また、錦地区の住民は災害時には陽北中学校まで避難することになっており、距離もあることから、地区住民及び帰宅困難者の避難施設の確保をお願いしたいと思います。
事務局	帰宅困難者の滞留空間、備蓄倉庫等の機能も、北地区などの駅前空間に設置できるよう検討してまいります。
橋本委員	交通政策的観点で言えば、利便性を考慮したストレスのない乗り継ぎのため、LRT、バス、タクシーの動線を確保することやわかりやすい案内サインを表示に努めていただきたいと思います。また、バスの一時停止が多くストレスとなっているので、よく検討していただきたいと思います。
本間委員	駅利用者が乗り換えの待ち時間に、駅西口に立ち寄ってみたいくなる施設や広場があり、またその先の田川の水辺空間や二荒山神社へ足を延ばしてもらえそうな仕掛け作りができると良いと思います。

村上氏 (高村委員代理)	利便性の高い交通空間や、ウォーカブルなまちづくりを実現していく中で、交通の円滑性が損なわれないように、意見を集約、調整、協議を重ねていきたいと思います。 また、L R Tの影響が東側だけでなく、西側にも及ぶことが考えられる中で、西口の開発もさることながら、沿線についても色々な提案が出てくると思われます。案が上がった際は、情報共有の機会を設け、各案の実現を考えながら交通の円滑性、利便性の確保をお願いしたいと思います。
森本会長	道路管理者と交通管理者は表裏一体でありますので、早い段階で情報共有をして、お互い密に連携を取りながら協議等進めていくということをお私からもお願いしたいと思います。
長田副会長	駐車場の視点で集約の話があがりましたが、街区単位でみたときに、商業や飲食店をやるとなると荷捌きの問題は必ず出てきますので、開発を行う際には共同荷捌き場やエリアごとに時間で使える荷捌きスペース等、良いまちになるよう留意して設計してほしいと思います。
森本会長	前回の懇談会でも、駐車場の件で入口や動線をどうするか等の話があがりましたが、作り方を間違えると、人にやさしいと言いながら、駐車スペースに向かうために、人の歩く空間を車が横切るようなことになるようなことになってしまいますので、駐車スペース、荷捌きスペースについては、個別に街区ごとで考えるのではなく、全体として駐車場の台数の適正化を考え、整備してほしいと思います。 また、東京の渋谷等の事例のように、駐車場の地域ルールを作り、あるいはここで言うところの西口駐車場対策協議会なるものを作ることで、附置義務駐車場の上限値を変更させることなどにより、必ずしも駐車場を整備するのではなく、まちづくりの負担金や支援金を人と環境に優しいような空間作りの方へお金を回していくという上手な使い方もありますので、適正規模の駐車場を、適正な場所に作ることで議論していただきたいと思います。 本日は、いろんなご議論をいただきましたので、引き続き計画の取りまとめをしていきたいと思います。
事務局	貴重なご意見をありがとうございました。計画策定に向け、いただいたご意見を踏まえまして整備基本計画策定に向けて検討を進めてまいります。 また、本日の資料に盛り込まれていなかった部分にもご意見をいただきましたので、もう少し整理をしたいと思っております。

森本会長	本日は活発なご議論どうもありがとうございました。抜けていたお話や、資料でお示しした内容について説明が行き届かなかった事柄について、様々なご指摘をいただきましたので、事務局でこれをまとめ、ブラッシュアップをしていただき、土地利用方針という形で次のステップへ進んでいただければと思います。 以上で本日の議事は終了します。
------	--

(5) その他

(6) 閉会